

朝日生命成人病研究所付属医院に通院中の患者様へ

診察記録を利用した後ろ向き観察研究への協力をお願い

研究課題	閉経年齢と糖尿病発症年齢の関連についての研究
研究の目的及び概要	過去の研究で、1型糖尿病の存在が閉経時期には影響を与えないことが示されていますが2型糖尿病が閉経時期に影響するかについてはわかっていません。また、早期閉経など閉経時期の変化に示されるような卵巣の機能低下は閉経後の2型糖尿病の発症に影響を与える可能性があります。さらに、閉経時期を左右するような環境要因、特に肥満、生活習慣やストレス状態は糖尿病の発症にも影響を与えますが、閉経時期とこれらを統合して糖尿病の発症年齢との関連を検討した報告は過去にありません。 そこで本研究で、閉経年齢と糖尿病発症年齢の関係を明らかにすることを目的として、閉経年齢と糖尿病発症年齢の関連を調査することとしました。
対象	2000年~2021年の間に朝日生命成人病研究所付属医院を初診で受診した糖尿病の方
方法	この研究は、朝日生命成人病研究所の倫理委員会の承認を受けて実施するものです。 対象者：朝日生命成人病研究所付属医院を受診した糖尿病女性患者です。 研究項目：カルテにある以下の様々な情報を取得します。厳密な項目名が必要な際はお問い合わせください。病名、糖尿病発症年齢などの糖尿病の経過、初診時の状況、血圧、診察所見、血液検査結果、他の検査結果、治療についての情報
個人情報の保護	この研究に関わって収集されるデータなどは外部漏洩がないように慎重に取り扱います。診察券番号、氏名、住所、生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたにも分からないようにした上で、個人情報管理担当者にのみ使用できるパスワードロックをかけた別媒体で厳重に保管します。研究結果は、個人が特定出来ない形式により学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理の下、研究終了後5年間保存されます。
研究者	朝日生命成人病研究所（栄養管理科部長） 菊池貴子 明治薬科大学（教授） 櫛山暁史、赤沢学 明治薬科大学（講師） 高橋雅弘 明治薬科大学 五十嵐千都、神山奈子、山口知紗、五藤由奈
利益相反	本研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。

本研究に関してご不明な点がある場合や、あるいは、データの使用に同意されない場合には、下記連絡先にご連絡いただけますようお願い申し上げます。また、本研究への参加をお断りになった場合にも、将来的に当院における診察・治療の面で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。

研究責任者：朝日生命成人病研究所付属医院糖尿病代謝科 栄養管理科部長 菊池貴子

住所：〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町2-2-6

TEL：03-3639-5501、Fax：03-3639-5520